

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
42000	X-13/31-B-1-420001				×	×	×
授業科目	担当教員						
情報産業	西山 茂	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × × 専門 専門 専門 専門	× × × × 選択 選択 選択 選択	× × × × 1年 1年 1年 1年

授業目的

現代社会はコンピュータと電子通信（ネットワーク、特にインターネット）の複合した技術（ICT）によって支えられている。ICTはこれを供給する側（ICT供給産業）の存在は不可欠であるが、これを利用・活用する側（ICT活用産業）の拡大も重要である。本授業では、この二つを併せて「情報産業」と位置付け、それぞれの現状、市場構造、トレンド、最新情報を学ぶ。更に「情報産業」のインフラとなる標準化、情報産業政策、関連法制度、情報産業従事者の働き方などの動向と課題についても学ぶ。

本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。

＜情報技術の利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること。＞

＜仕事の仕組みをシステム的に考え、データを重視した論理的な判断ができること。＞

各回毎の授業内容

第1回

【授】 イントロダクションー 情報産業の位置付けとデジタル社会の意味
【前・後】 以下の参考文献などを用いて事前に2時間予習を行い、授業後教科書及び配布資料に基づいて復習2時間行う。

第2回

【授】 ICT供給産業（1）— コンピュータ産業
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第3回

【授】 ICT供給産業（2）— 電子ネットワーク産業
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第4回

【授】 ICT供給産業（3）— 情報サービス産業
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第5回

【授】 ICT活用産業（1）— デジタルコンテンツビジネス
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第6回

【授】 ICT活用産業（2）— 商取引（eコマース）
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第7回

【授】 ICT活用産業（3）— 教育（eラーニング）、Web関連産業
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第8回

【授】 ICT活用産業（4）— 行政（e-Gov）その他の産業分野
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第9回

【授】 情報産業基盤（1）— 政策・法令と標準化
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第10回

【授】 情報産業基盤（2）— 知的財産権
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第11回

【授】 情報産業基盤（3）— 情報セキュリティと個人情報保護
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第12回

【授】 [12] 情報産業基盤（4）— 情報産業における人材と働き方
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第13回

【授】 情報産業及びデジタルエコノミーの将来展望
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第14回

【授】 情報産業最新情報アップデート（ICT及び利用法の最新動向など）
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第15回

【授】 まとめ — ICTがもたらす仕事、家庭生活の変化（過去、未来）、ICTの社会へのインパクト
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく予。復習（予習3時間、復習1時間）

第16回

【授】 定期試験
【前・後】 教科書及び配布資料に基づく復習（復習4時間）

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

概ね次のように評価する。

- ・期末テスト：60%（理解度確認テストを1回以上提出していること）
- ・理解度確認テスト（Quiz）：40%（基本的に単元ごとに実施する）
- ・フィードバック法>
- ・理解度確認テストは授業の中で答え合わせを行う。
- ・定期試験については、ポータルの授業連絡機能を用いて、試験結果の講評を全履修生に伝える。

教科書参考書

初回に教科書を配布する（コピーの場合もある）。

単元ごとに、事前に講義資料をポータルに登録する。各自ポータルからダウンロードして利用する。

参考文献：

- ・政府・業界系白書：情報化白書、情報通信白書、情報サービス産業白書、デジタルコンテンツ白書等
- ・民間の白書等：インターネット白書；インターネットビジネス白書；情報通信ハンドブック等
- ・OECDレポート：OECD Information Technology Outlook 2010、2012（出版されれば）
- ・米国商務省レポート：Digital Economy 2003、<http://www.esa.doc.gov/Reports/digital-economy-2003>
- ・林 純一郎著、電子情報通信産業、電子情報通信学会、2002

受講に当たっての留意事項

- ・理解度確認テストの提出回数が0回である場合は期末試験の受験資格を与えない。

学習到達目標

1. ICT供給産業（コンピュータ、ネットワーク、情報サービスなど）の動向と課題を理解し、説明できる。（期末テスト／理解度確認テスト：30%／10%；以下同様）
2. ICT活用産業（商取引、教育、行政など）の動向と課題を理解し、説明できる。（10%/10%）
3. 情報産業基盤（法制度、標準化、知的財産権、情報セキュリティ、個人情報保護、情報産業人材の働き方と人材育成）に関する知識を理解し、説明できる。（10%/10%）
4. デジタルエコノミーの進展と情報産業政策の動向およびICTの潮流を理解し、説明できる。（10%/10%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：G

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習